

メンバー、ボランティア、学生
みんな仲間!

平成31年4月号

けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」
平成31年4月1日(第168号)

3月17日、今年も「スプリングフェスティバル」に参加しました。



ポスター最優秀賞を授与した松田さん



今年の司会は下村さんと齋藤さん



絵画と写真も好評でした



エプロンシアター 「ブラウンさんの黄色い帽子」



出演後の記念撮影

ウクレレと歌は、例年通り「メリーさんのひつじ」から始まり「春が来た」「エーデルワイス」(榎さんのギター演奏も!)「アロハ オエ」と続きました。増谷さんの「エプロンシアター」では、共演者も振り付けに参加しました。齋藤さんは、お母さんのピアノ演奏でスピッツの「ロビンソン」を見事に歌い上げました。最後に「幸せなら手をたたこう」を会場の皆さんと一緒に楽しみました。(とても良かった、感動しましたなどと言う観客の方たちの感想が寄せられました)

～馬田さんよりメッセージが届きました。～

昨日の園芸は皆さん協力的ではかどりました。愛でてくださる99歳の方に出会えたのも嬉しかった。ローズマリーの違う品種のこともよく見ていてくださいました。育てたものが誰かを癒しているということは嬉しいことです。こちらの集会所でもほめてくださる方に差し上げたり、デイサービスに飾ってもらったり、お子さんに育てているメダカの餌をあげてもらったりとコミュニケーションガーデンと呼んで楽しんでいます。千葉大のガーデンの桃の花、蕾を一枝いただいて帰りました。今日は次々開いています。千葉大ガーデンのものも開いているでしょうね。今日は集会所の大島桜も2輪咲きました。時は春ですね(^-^)(3月19日)



約15年後



たくさんのハーブが育っています。



ここにブラックベリーが収穫します。



色々な野菜も



遠藤さん、東海林さん、ソフトバレーボールのボランティアを長い間ありがとうございました。

今年も優勝目指します。応援してください。(2019.3.26)

～糸日谷さんよりお手紙が届きました～

お元気ですか。今回一カ月あまりの入院で多様なことを学ばされました。まず一番大切だった事は、障害や病気に対する本人の姿勢でした。ややもすると、入院当初は不安とあせりでオロオロしていました。しかし医師と共に少しずつ改善していく方向を見い出してゆくことができるようになりました。2つ目は家族の協力です。もちろん家族の人に障害や病気を正確に理解してもらう事が大切ですが、入院となると家族の負担は並大抵ではありませんでした。今は家族に深く感謝をしています。入院に必要な準備、手続き、家族の負担はとても大きいのです。最後に精神科の病院は、対象としている方や入院されている方が多様なので、病院の様子はずいぶんいろいろです。病院のある場所、自分に合った障害の程度の病院を選ぶことです。最後に何よりも少しでも元気な生活を送ることを願っています。(3月1日)



(佐藤儀子さんがハーブのミモザで作ってくれました。)

～池田三友紀さん～

2月28日



三友紀さんを偲びました。

川柳

来年は君とのラップでできるよね

明日からスタートダッシュユ切れるかな

本当だウワサしてたらひよっこりと

また発作堪えて生きぬく強い意志

死ぬもんか精神発作耐え抜くぞ

さとし君イケメン過ぎて女性引く

いいんだよ嘘ついてもね川柳は

思い出す君の笑顔に胸キュンだ